

第二部拡大役員会（第26期・第4回）
兼 生命科学系の学協会連合体との円卓会議（第3回）議事録

日時 令和8（2026）年5月30日（土）10:00－12:00

会場 日本学術会議5－A会議室及びオンライン会議システム併用

出席者：

【現地】

日本学術会議副会長	磯 博康
第二部長	尾崎 紀夫
第二部副部長	堀 正敏
第二部幹事	玉腰 暁子
第二部幹事	古屋敷 知之
健康・生活科学委員会委員長	西村 ユミ

学協会連合体

農業経済学会関連学会協議会（日本農業経済学会会長）	坂爪 浩史
公益社団法人日本獣医師会専務理事	伏見 啓二
日本脳科学関連学会連合代表	岡野 栄之
全国公衆衛生関連学協会連絡協議会世話人	磯 博康（再掲）
一般社団法人日本看護系学会協議会副会長	佐藤 正美

【オンライン】

日本学術会議基礎生物学委員会委員長	小林 武彦
農学委員会委員長	中嶋 康博
食料科学委員会委員長	高山 弘太郎
臨床医学委員会副委員長	野出 孝一
歯学委員会委員長	村上 伸也
薬学委員会委員長	奥田 真弘
生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会委員長	樋田 京子

学協会連合体

一般社団法人男女共同参画学協会連絡会代表理事	坂内 健一
日本分類学会連合代表	大塚 泰介
日本微生物学連盟理事長	長田 裕之
生物科学学会連合代表	東原 和成
日本光生物学協会会長	長澤 裕
自然史学会連合代表	遠藤 一佳
日本昆虫科学連合代表	阿部 芳久
日本植物保護科学連合運営委員会委員長	松本 宏
一般社団法人日本農学会会長	小崎 隆
日本農学アカデミー会長	生源寺 眞一
一般社団法人日本医学会連合会長	門脇 孝

日本スポーツ体育健康科学学術連合運営委員
一般社団法人日本歯学系学会協議会理事長
一般社団法人日本歯科医学会連合専務理事
一般社団法人日本薬系学会連合会長

宮地 元彦
今井 裕
柳井 智恵
高倉 喜信

その他第二部会員オブザーバー参加者 3名
学協会連合体オブザーバー参加者 1名

議事録

1. 開催挨拶

尾崎第二部部長から、日本学術会議と生命科学系の学協会連合体との継続的な意見交換を通じて、相互の活動状況や課題を共有し、今後の協働の方向性を検討していくことが重要である旨の挨拶がなされた。

2. 参加者自己紹介（初めて参加した学協会代表者、または代理者のみ）

3. 現在の日本学術会議の活動や取り巻く状況の説明

○日本学術会議の活動報告（磯副会長）：

日本学術会議の法人化に向けた準備状況として、法人化準備委員会における会員選任、組織運営、自己資金等に関する検討が進められていること、次期の会員予定者の候補者の選考状況、連携会員制度や協力学術研究団体の要件見直し、総会・役員会・委員会運営の整理等について説明がなされた。また、意思の表出のフォローアップ、ニュースメールやウェブサイトを通じた情報発信の強化、COI 管理やガバナンス体制の整備についても報告がなされた。

○Gサイエンス学術会議（Science 7：S7）の共同声明の動向（尾崎部長）：

2026年のGサイエンス学術会議（Science 7：S7）において取りまとめられた3つの共同声明のうち、脳の健康とメンタルヘルスをテーマとする共同声明 “Advancing Brain Health (including Mental Health) for Global Societal Resilience” について説明がなされた。とりまとめの過程で日本側が重視してきた論点が共同声明に反映されたこと、また今後のフォローアップの方向性について報告がなされた。

○日本学術会議/大学・研究機関/日本製薬工業協会の三者共創推進案（堀副部長）：

日本学術会議、大学・研究機関、日本製薬工業協会による三者共創の推進案について説明がなされた。製薬産業が幅広いヘルスケア領域へ展開していることを背景に、学术界と産業界が連携し、中立的な学術的立場から社会的課題や将来的な研究・イノベーションの方向性について議論を深めていくことの重要性が示された。

4. 日本学術会議と学協会連合体との意見交換

- (1) 日本昆虫科学連合（阿部芳久 代表）
- (2) 日本脳科学関連学会連合（岡野栄之 代表）
- (3) 日本薬系学会連合（高倉喜信 会長）

各学協会連合体の取り組みや日本学術会議との関係について説明があり、その後意見交換が行

われた。

(以上)